

* おの100に感謝を込めて *

『もしもおの100をやっていなかったら・・・?』

この問いを初めて聞いたとき、私がおの100以外にも部活やアルバイトをしていた私は、おの100がなくても充実した学生生活を送っていたらと感じたのです。しかし、学生時代に取り組んだ一つひとつの出来事をさらに振り返っていくと、さまざまな場面におの100の気づきや学びが生かされていることに、改めて気付かされることになりました。

どうしておの100での気づきや学びが、それ以外の場面にもつながるのでしょうか。

私は、この理由の一つに、おの100が『考働』する場面を与えてくれるということがあると思います。ただ考えすぎて悩みとどまるのではなく・・・、ただがむしゃらに動くのではなく・・・、“考”えながら“働”くことをおの100で学びました。ここでは、「相手のために行動する」という意味も込めて、“働”という字を使いました。そんなおの100に3年間関わってきた中で、私自身が変わった(と思う・・・)ことを三点書かせていただきます。

一点目は、周りに対する感謝の念が深まったということです。おの100の研修や本番の中で、誰かが誰かのために動いていることを感じる場面が多くありました。また、当たり前だと感じていることの尊さもさまざまな人との関わりの中で気づけるようになってきました。このような気づきや経験をさせてもらうことで、さまざまな人やものに感謝するきっかけを与えていただきました。

二点目は、相手のために行動したいと思えるようになったことです。おの100に出会うまでの私は、「ありがた迷惑になったらいけないから。」、「ちょっと忙しいから。」などの理由をつけて、大変なことから避けようと自分を正当化していました。しかし、他人のために行動しているたくさんの人に出会い、いろいろな人やものに対する感謝の気持ちが生まれたころから、「自分も相手のために動ける人になりたい。」と強く思うようになりました。

三点目は、ポジティブに物事を観ることができるようになったことです。おの100の中でさまざまな経験をさせていただく中には、たくさんの失敗があり、辛いことも苦しいこともありました。そんな中でも、多くの人に支えられながらおの100をやっていく中で、「すべての経験は必ず未来につながっている。」と感じるようになりました。この気づきから、自分の周りに起こる出来事をポジティブに解釈したり、楽しんだりするようになったと思います。

このように、おの100で『考働』する場面を与えていただいたおかげで、私自身の相手に対する関わり方やものごとのとらえ方には変化が生まれました。まだまだ自分の弱さに負けて、ただ考えるだけで行動に移せなかったり、目的を見失って行動したりすることも多くあります。しかし、学生時代におの100に出会い、たくさんの失敗をさせていただいたことは、学生時代のよい経験で終わるのではなく、これから社会に出ていく上で、自分自身の使命や、仕事へのスタンスにも大きく関わっていくものだと確信しています。(まだ社会は経験していませんが、就職活動の面接では、おの100での経験から感じたことを、随所で語りまくりました。)

「百聞は一見にしかず、百見は一験にしかず！！！！」

これを読んでくださっているみなさんに私が感じているおの100の魅力を伝えたいのですが、つたない私の言葉ではなかなかまとめることはできません。できるのであれば、ぜひ経験していただきたいです。新しいことに挑戦する不安はありますが、やる気だけあれば大丈夫です。そして、一人ひとりの違う感性で、多くのおの100の魅力を感じられることを願っています。

最後になりましたが、KAKIさん、ねえやんをはじめとするおの100に関わるすべての皆さまに感謝の意を表して、私の学生時代のおの100の振り返りとさせていただきます。

みなさん(ここまで読んでくださったあなた)大好きです(笑)!

本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いいたします。